

殺しの烙印 (1967)

メディア 映画

ジャンル サスペンス

製作国 日本

色彩 B&W

時間 91分

初公開日 1967/06/15

公開情報 日活

【解説】

もはや理解不能なストーリー展開とひたすら懲りまくったスタイリッシュな映像でまさに清順美学が炸裂したカルト・ムービーの傑作。日活解雇の直接の原因になった作品としても知られる。2001年公開の「ピストルオペラ」は本作が基になっている。飯の炊けた匂いが好きな殺し屋ナンバー3、花田は殺しの依頼を遂行し損ねて逆に組織から追われるハメになるのだったが……。脚本の“具流八郎”は清順監督や大和屋竺ら8人のスタッフによる共同ペンネーム。

【クレジット】

監督 鈴木清順

企画 岩井金男

脚本 具流八郎

撮影 永塚一栄

美術 川原賢三

音楽 山本直純

出演	穴戸錠	花田五郎
	小川万里子	花田真美
	真理アンヌ	中条美沙子
	南原宏治	大類進
	玉川伊佐男	藪原道彦
	南廣	春日義平
	久松洪介	宝石商
	緑川宏	眼科医
	荒井岩衛	義眼の男
	長弘	バーテン
	伊豆見雄	コック
	宮原徳平	下級官吏
	萩道子	スナックの女
	野村隆	ボーイ